



今月の主な内容

- 議会かわもと P 5～9
- 令和元年度決算公表 P 10～11

コロナ禍で行われた川本中学校体育祭。3年生にとっては最後の体育祭でしたが、持ち前の明るさと団結力でやり遂げました。

令和2年度 運動会・体育祭

9月から10月にかけて、町内の小中学校、保育所で運動会・体育祭が行われました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラムの短縮や来場者の制限などもありましたが、子どもたちは元気いっぱい競技に取り組みました。



9/5
(土)

川本中学校体育祭



9/13
(日)

川本小学校運動会





赤と白のリボンを付けた“魔女のキキ”が運ぶ荷物に玉をポイッ！



オープニングの「キラメイダ
ンス」で運動会がスタート！

9/29
(火)

川本保育所運動会



たくさんの声援の中練習の成果を発揮！
心をひとつにバトンをつないだ色別リレー



色んなヒーロー・ヒロインに
扮して「はい、チーズ！」



晴天に映えるパラバルーン



運動会直前でつかまり立ちが出来たよ！

10/6
(火)

因原保育所運動会



応援席からは年少さんの可愛い声援



年長さんの親子競技は
楽しい仕掛けがいっぱい！



練習を重ねた器械体操も見事に決まりました！



保育所最後の運動会となった年長さん

10/13
(火)

川本北保育所運動会



年少から年長まで息の合った発表になりました。

令和2年度まちづくり意見交換会〈後編〉

開催日

8月17日 悠邑ふるさと会館・大ホール
8月20日 三原まちづくりセンター・体育館
8月21日 川本西体育館

皆さんからの意見

湯谷温泉弥山荘

●町内の利用者が少ないと感じている。利用拡大に向けた取り組みは？

―イベント開催や無料送迎バスの運行などを実施してきた。今後も、町内外を問わず利用していただける運営に取り組む。

●バス運行のモニタリング結果は？入浴利用に合わせた時間でやるべきだったのでは？

―利用者は少なかった。時間帯が合っていないかったかも知れないが、今回はスクールバスが運行していない地区という観点から実施した。

島根中央高校

●定員が増えたが入学者が少なかった。県内からの生徒が少ないと聞いている。

―町外県内生が減少した。今年度もコロナ禍で生徒募集に苦慮している。様々な魅力がある高校なので、町として引き続き学校と一緒に生徒募集に取り組みたい。

女子寮（江風寮）の今後は？

―本人、保護者に希望を取った結果、魅力化センターに移った生徒は40人。江

風寮の運営は高校が決められる。

石見川本駅跡

●駅舎、線路や周辺の今後は？

―現在、次期町総合計画の策定に取り組んでおり、駅前のみならず弓市地区の魅力化の中でどう開発を進めるか、因原・三原地区も同様に考えていく。ただ、近年、災害が短期間で発生し課題となっている。災害対策を講じなければ次のステップに進めない状況。

三原地区の運動場整備

●現在の残土置き場が運動場になると聞いているが、現状または最終的なイメージは？

●三原地区の住民にとって運動会は大きなイベント。運動場の整備をお願いしたい。

―三原の残土置き場以外にもう1か所あり、そちらが今年度に完成する。三原はもう1年掛かる見込み。最終図面ができ次第お示ししたい。

水道事業

●町水道の整備をお願いしたい。井戸を利用している地区では、施設の修理費用や高齢化による維持等が厳しい。施設維持に係る町からの支援をお願いしたい。

―各地区から要望はいただいているが、水道事業としては財源が厳しく難しい。井戸の掘削、施設維持に対する補助金、補助率も含め検討したい。

学習交流センター

●ヘリポート整備の際にプールを撤去した。火災時の一時消火水利として備えはあるのか？

―施設内のタンクで一時消火はまかなえると考えている。必要と感じられるところは相談しながら検討していきたい。

文化財指定

●武明八幡宮に所蔵されている毛利元就の書状を、川本町が歴史上でも大きな存在であったと証するため、文化財指定への答申をして欲しい。

―非常に貴重な文献であると認識している。答申を検討したい。

三協川本工場

●操業から2年が経ったが、現状や今後の計画は？

―現在勤務している30人のうち、町内在住は20人程度であり、定住の効果はあったと思われる。引き続き、採用に向けた取り組みが行われている。

イベント補助

●地域のイベント実施に対する補助をお願いしたい。

―邑智郡広域振興財団による補助制度があるので紹介したい。

広報

●意見交換会のお知らせが、ホームページや広報紙に掲載がなかった。情報発信を行って欲しい。

―今後、しっかりと行っていきたい。





No.135

発行

島根県邑智郡川本町川本

川本町議会

TEL(0855)72-0068(直通)

FAX(0855)72-1136

〒696-8501

編集 議会広報委員会

印刷 佐々木印刷株式会社

発行日 令和2年10月20日

臨時会

令和2年8月20日、第3回臨時会が開催されました。

予算案件3件が提案され、原案どおり可決しました。

定例会

令和2年第3回定例会が9月11日から17日まで7日間、開催されました。

はじめに野坂町長の行政報告が行われ、条例案件1件、予算案件4件、決算案件5件、人事案件3件の13議案と議員発議2件が提案され、慎重審議の結果、原案どおり可決しました。

一般質問は、6名の議員から当面する町政の諸問題について質問があり、活発な議論が展開されました。

一般質問に先立ち、決算特別委員会において、令和元年度決算について審議し、最終日、委員長報告の後、採択が行われ、原案どおり認定され、すべての日程を終了しました。

決算特別委員会審査報告書

議案番号	付託事件名	審査結果
議案第54号	令和元年度川本町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第55号	令和元年度川本町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第56号	令和元年度川本町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第57号	令和元年度川本町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第58号	令和元年度川本町農業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定

人事案件

◎人権擁護委員の推薦について、全員賛成で同意しました。

記

住所氏名	川本町大字南佐木市原和正氏
住所氏名	川本町大字川本上田香苗氏
住所氏名	川本町大字因原原田敏子氏





傍聴席風景

一般質問

川本町のまちづくり政策について問う。

左田野総務財政課長「自然災害が増す中、減災計画と地方創生は同時に考えていく。」



本山議員

町の将来像に住民の関心が高まっている。次期総合計画・戦略の計画と位置づけを問う。

瀬上まちづくり推進課長

総合計画も総合戦略も作成段階である。課題は山積している。

本山議員

作成には、行政の壁を超えるタスクフォース（プロジェクトチーム）を設置し、コミュニティを重視した分かりやすいビジョンと具体的で魅力ある表現を要望する。

本山議員

歴史教育と文化財保護策を問う。

坂根教育課長

ふるさと学習を通じて、自然や歴史教育をしている。

本山議員

伝統文化が目に触れる場所作りを望む。

本山議員

治水対策に踏み込んだ情報提供を望む。

野坂町長

国や県には十分に説明をしている。被災者の声も分かっている。さらに強く働きかけを行う。情報は的確に伝え、理解を得る。

川本保育所の駐車場について問う。

杉本副町長「旧ＪＲバス用地を賃貸借契約し、進入路と駐車場を整備する検討を進めている。」



石川議員

川本保育所の駐車場について

は、以前より危険であるとの指摘がなされている。最も安全が重要視されなければいけない場所であると考ええる。送迎時に事故が起きないよう配慮すべきと考えるが、執行部の所見を問う。

櫻本健康福祉課長

川本保育所の園児数は71人で、通園については、ほとんどの保護者の皆さんは車両で送迎されている。駐車場が狭いため、駐車スペースが確保できるまで順番待ちで待機されることもあり、入り口付近は車両の出入りで混雑する状況である。

杉本副町長

直近の5年間において70名以上の園児が通所しており、送迎される保護者の皆さんの意見からも駐車場が危険であることは、町としても把握している。

解決に向けては、具体的な検討を進めていく考えである。

◎その他の質問

●本町の農業振興について問う。



有害鳥獣被害対策について、本町の取り組みを問う。

湯浅産業振興課長 〓 今後は、集落で有害鳥獣の追い払いを行っていただく気運を高めていきたい。



中平議員

サル、イノシシ等による農作物の被害は、本町にとって深刻な問題である。今後の対策について問う。

湯浅産業振興課長

被害対策としては、駆除班による銃器での駆除、わなの設置。侵入防止対策として、ワイヤーメッシュ電気柵の設置。花火・エアガンなどを使った追い払い。草刈り、放任果樹の伐採などによる農地と動物生息域との緩衝帯の設置等を組み合わせることが重要であり、今後も支援を実施する。

中平議員

近年は、個体数の増加が懸念されており、対策の強化が必要である。役場内の専従職員の育成も課題である。緩衝帯の設置には、森林環境譲与税が利用できるのではないかな。

また、今後はシカの被害対策も視野に入れておく必要がある。

◎その他の質問

●三江線跡地利用について問う。

鳥獣被害の現状と対策について問う。

湯浅産業振興課長 〓 里山から家庭菜園にまで被害を及ぼす今日の対策の基本は、「駆除」、「防護」、「環境対策」の3つである。



圓山議員

長年の鳥獣被害について、その対策の現状と効果を問う。

湯浅産業振興課長

猟友会を基本にした駆除班を編制し、各地域で先頭に立ち被害対策に取り組んでいただいている。また、農家の皆さんには防護柵設置への補助や研修をする等意識の向上を図って、対策を地域全体で取り組むことにより今後の効果が発揮できるものと考えている。

圓山議員

猟友会と駆除班の関係性についてまた、川本町に有害鳥獣駆除実施隊がないのは、なぜかを問う。

湯浅産業振興課長

狩猟免許の関係で、猟友会と駆除班は、ほぼ同一である。次に、有害鳥獣駆除実施隊は現在、県内に11の市町村が設置しており、狩猟税の減免や公務災害の適用等、狩猟免許取得者にはメリットもあるがその反面、多様な対策活動が求められる。まずは、農業者や地域の皆さんには、被害エリアを自分たちで守るという啓発活動をした上で気運醸成を図り、実態を調査し、設置に向けて研究していく。

◎その他の質問

●平成21年に施工された中倉地区の緩衝帯について、町としての評価を問う。

強靱な堤防と市街地幹線道路化について問う。

伊藤地域整備課長 〓 弓市地区川本堤防が完成堤防になるために早期実施に向けて、国に強く要望する。



木村議員

道路行政について「いつかは創る行政からいつまでに創る行政への転換」を要請する。

伊藤地域整備課長

弓市地区は、川本堤防の内側にあり、災害時に避難誘導や物資など、安全かつ安心に通れる幹線道路確保が本町にとって必要不可欠である。川本町都市計画道路の望ましいルート案を現在、検討中である。

木村議員

瀬尻・久料谷地区の水防事業にかかる国道261号の嵩上げについて問う。

伊藤地域整備課長

8月に設置された「江の川水系流域治水協議会」において、流域全体での整備方針等、協議を実施した。この度の豪雨災害により、再び瀬尻・久料谷地区が孤立したことも踏まえ、島根県からは、国が水防事業に着手する際には、併せて国道261号も嵩上げする意向を示された。

◎その他の質問

●川本町鳥獣被害防止計画について問う。

●川本町教育行政について問う。

悠邑ふるさと会館の今後の活用方針を問う。

坂根教育課長「本町の文化活動の拠点として、芸術鑑賞事業を中心に活用したい。」



香取議員

本町の公共施設の中でも多額の維持管理費や修繕費を要する悠邑

ふるさと会館について、その利用状況と今後の活用方針を問う。

坂根教育課長

大ホールは、各種イベントや中高生の吹奏楽部の練習等に利用されており、稼働率は24%である。今後音響設備の良さを活かし、芸術鑑賞事業を中心に、本町の文化活動の拠点として活用したい。

香取議員

活用するのであれば、目標やターゲットを明確にして、戦略的に活用してほしい。

特に、大ホールは、中国地方屈指の音響設備を誇り、来町した演奏家からの評価も高い。レコーディングでの利用や合宿を誘致すれば、宿泊や飲食業への波及効果も期待できる。産業振興課とも連携してしっかり取り組んでいただきたい。

また、並行して清掃費等の経費の見直しも着実に進めてほしい。

◎その他の質問

●江の川の「流域治水」に対する本町の方針について問う。

●男性の育児休業取得について問う。

議員発議 (意見書提出)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

新型コロナウイルスの感染症の拡大により、今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想されます。よって、国においては、地方の安定的な財政運営に必要な地方税・地方交付税等の一般財源総額を確保するなど5項目について、令和3年度の地方財政対策及び地方税制改正に向け確実に実現されるよう、町議会から政府・国会等に対し、地方自治法第99条の意見書を提出します。

国土強靱化、老朽化対策を含む地方の社会資本整備の推進を求める意見書の提出について

近年、全国各地で大規模水害が発生しており、江の川流域においても平成30年、今年7月とわずか2年の間に2回浸水被害を受けました。また、コロナ禍で落ち込む地域経済を回復させる上で交通基盤など社会資本の重点的な整備は一層重要となります。このため、令和3年度予算において治水事業予算を大幅に増額するなど社会資本整備に必要な予算を十分に確保するよう、町議会から政府・国会等に対し、地方自治法第99条の意見書を提出します。

陳 情

受理番号 年 月 日	陳情の要旨	陳情者の住所及び氏名	付託委員会	審査の 結 果
第1号 2. 9. 1	「少人数学級制度の拡充を求める意見書」を国に提出することを求める陳情書。	松江市母衣町55 島根県教組内 ゆきとどいた教育をすすめる島根の会 代表 小 松 雪 乃	総 務 教 民 常任委員会	採択
第2号 2. 9. 1	「現行少人数学級制度縮小計画の凍結を求める意見書」を県に提出することを求める陳情。	松江市母衣町55 島根県教組内 ゆきとどいた教育をすすめる島根の会 代表 小 松 雪 乃	総 務 教 民 常任委員会	採択

広 報 研 修

令和2年8月17日、松江市「タウンプラザしまね」において、島根県市町村議会広報研修会が開催されました。

コロナ禍でソーシャルディスタンスを確保しての取り組みの中、研修議題は、「情報を分かりやすく伝える」。講師は、ビジョンクリエーター・朝日新聞メディアプロダクション 校閲事業部長の前田安正氏でした。

それぞれの市町村の広報紙を取り上げ、写真の撮り方、文章の整え方、見出しの組み立て等、読者の視点に立った立場で物事を捕らえ、大変勉強になった研修でした。今後、このことが活かせるような広報作成を目指していきたいものです。



坂 町 議 会 正 副 議 長 来 町

7月の豪雨被害に対して、坂町議会の皆様から見舞金をいただきました。



写真右から、

坂町議会副議長
坂町議会議長
川本町議会議長
川本町議会副議長
片 飯 川 中
岡 田 本 川
通 武 英 ゆかり氏
泰 則 輔 氏



編 集 後 記

新型コロナウイルス感染症は、様々な分野で私達の想像を超える悪影響を与え始めている。

プロの音楽家を目指す人達は、ライブなどの開催がままならず、苦しい立場に追い込まれていると聞く。また、プロスポーツの世界に挑戦する選手や推薦で大学進学を目指す高校生にとっても、実力を発揮する場面が極端に少なく、方向転換を余儀なくされるケースもあるようだ。経済の動向については言うまでもあるまい。

ここからは「餅は餅屋」に任すしかないのだろう。本当に他力本願ではあるが、コロナに有効なワクチンを開発中の研究機関、研究者に頑張ってもらいたいと願うばかりである。

〈石川〉

令和元年度 決算 公表

令和元年度一般会計・特別会計の決算が町議会9月定例会で認定されました。

町民のみなさんに納めていただいた大切な税金や国・県からの補助金などのお金が、どのくらい入ってきたのか、またどのように使われているのかをお知らせするため令和元年度決算を公表します。

① 普通会計の決算

歳入 46億5,719万円

町税 3億1,836万円
町民税や固定資産税など

諸収入 2億193万円
三江線代替交通導入費等負担金、介護保険事業委託料、学習交流センター実費徴収金など

繰入金 8,602万円
各種基金や他会計からの繰入金

使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰越金、分担金、負担金 2億2,755万円
町営住宅使用料、ふるさと納税寄附金、土地売却収入など

地方交付税 20億2,923万円
どの地域に住む人にも一定の行政サービスを提供できるように、国が交付する税

国・県支出金 8億2,736万円
道路整備や携帯電話等エリア整備事業、定住促進住宅整備事業、福祉事業、地方創生関連事業などに伴う補助金

町債 8億5,396万円
道路整備や定住促進住宅、まちごと魅力化センターの建設などを行うときの借入金

交付金ほか 1億1,278万円
消費税や自動車重量税など国・県に納めた税金の一部が一定の基準で交付されたもの

町税 6.8%

諸収入4.3%
繰入金1.9%
その他4.9%

地方交付税 43.6%

国・県支出金 17.8%

町債 18.3%

その他 2.4%

自主財源 17.9%

依存財源 82.1%

歳出 46億397万円

総務費 25.4%

民生費 20.6%

衛生費 10.1%

農林水産業費 5.7%

土木費 11.7%

教育費 9.5%

公債費 10.3%

その他 6.7%

総務費 11億6,795万円
庁舎管理費、悠呂ふるさと会館運営費、定住対策事業、地域情報通信事業費、生活バス路線確保事業、学習交流センター管理運営費など

民生費 9億4,625万円
児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、生活保護費などの福祉事業費、介護保険事業負担金など

衛生費 4億6,327万円
健診などの健康づくりに係る費用やし尿・ごみ処理費、簡易水道事業特別会計繰出金など

農林水産業費 2億6,475万円
農林業の振興、農業集落排水処理事業に係る経費など

土木費 5億3,735万円
町道の整備及び維持管理、町営住宅の維持管理費など

教育費 4億3,632万円
小中学校、図書館、音戯館、学校給食センターの管理費など

公債費 4億7,510万円
借入金の返済金（元金・利子）

その他 3億1,298万円
消防や救急の消防費、議員活動に係る経費である議会費、商工会補助金、企業誘致に係る経費である商工費、災害復旧費など

町民1人当たりが負担した町税 **98,715円**

町民1人当たりに使われたお金 **1,427,590円**

※町の人口：3,225人（令和2年3月31日現在・住民基本台帳人口）

決算規模

前年度と比較して歳入は10・6%の増、歳出は11・2%の増となりました。財政の弾力性を示す経常収支比率は前年度より0・1ポイント減少し92・6%となりました。これは、普通交付税の増額や地方税収入の増額等が主な要因となっています。

歳入決算の特徴

自主財源の根幹である町税の収入については、前年度比2・1%の増となっています。また、国庫支出金については、まちごと魅力化センター建設に伴う地方創生拠点整備交付金の皆増等により前年度比59・7%増、普通交付税については、前年度比2・8%増となっているものの、特別交付税にて7月豪雨に要する経費が皆減したことにより、普通交付税と特別交付税を合わせた地方交付税の総額では、前年度比0・5%増に留まっています。自主財源割合が17・9%であることから、国・県の補助金や地方交付税に依存した歳入構造であるといえます。

歳出決算の特徴

歳出は前年度比11・2%増であり、主な増額の要因は、まちごと魅力化センター建設等の普通建設事業の経費が増となったことがあげられます。

② 特別会計の決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	5億1,355万円	5億850万円
後期高齢者医療	1億3,480万円	1億3,478万円
簡易水道事業	3億4,430万円	3億4,370万円
農業集落排水処理事業	5,041万円	5,041万円
合計	10億4,306万円 (前年比9.2%増)	10億3,739万円 (前年比8.9%増)

③ 健全化判断比率及び資金不足比率

健全化判断比率	令和元年度	平成30年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	—	20.0%
実質公債費比率	8.1%	7.2%	25.0%
将来負担比率	9.4%	13.6%	350.0%

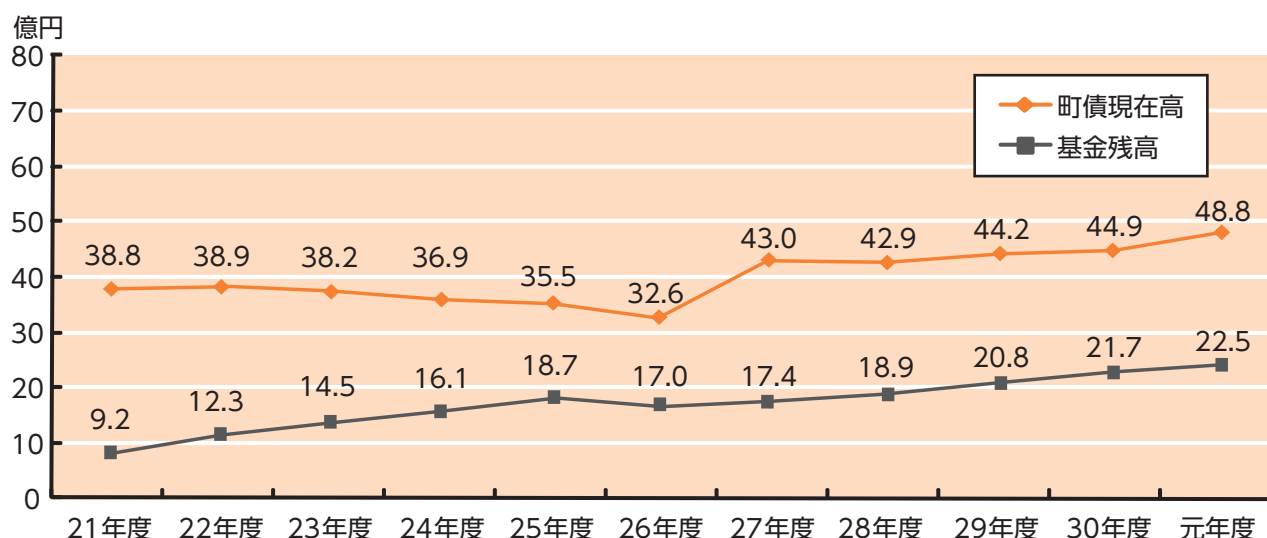
※実質赤字比率、連結実質赤字比率は、赤字が生じていないため「—」で表示しています。

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
簡易水道事業	—	20.0%
農業集落排水処理事業	—	20.0%

※資金不足比率は、資金不足が生じていないため「—」で表示しています。

④ 町の借金と預貯金の残高の推移グラフ

下のグラフは、町の過去10年間の町債（普通会計の借金）と基金（預貯金）の残高の推移です。安定した行政サービスを提供するため町の借金を減らすよう努力していきます。



町民1人当たり 町債残高 1,513,395円 (前年比 145,946円増加)
基金残高 696,735円 (前年比 35,265円増加)

監査委員意見書（抜粋）

令和元年度の決算は歳入で766,757千円、歳出で819,975千円と前年度増となっている。まちごと魅力化センター建設事業費が大幅に増額となったのが、その大きな要因である。それに伴い、町債の発行も前年度を3.7億上回る8.5億となっている。その結果、地方債残高は48億8千万と3億9千万増えている。令和4年度からは単年度の償還額は5億超えとなる。一方、積立金は三江線運営協力金等を1億6千万積立てたが、積立金残高は前年度より7千6百万の増に留まっている。

財政健全化比率については、実質公債費比率は前年度から0.9ポイント増の8.1%、将来負担比率は13.6%から4.3ポイント改善し9.4%となっている。いずれも健全化判断基準を下回っている。

収納状況は、町民税、固定資産税、軽自動車税等の徴収率は横ばいとなっている。水道料は約30万円改善しているが、住宅料は未納額が増加している。差し押さえを7件行っている。今後も県の協力を得ながら徴収率の向上に努力して頂きたい。

不納欠損は一般会計で7,601千円、国保会計で1,328千円行っている。固定資産税と農地開発事業貸付金の額が大きい。

平成23年度から受け入れている地域おこし協力隊については、令和元年度までに26名が来町し、現在10名が活動中であるが、任期満了者16名のうち8名が町内在住となっている。人材の定着を後押しする支援の充実を図る必要がある。

邑智郡総合事務組合職員採用試験

(令和3年4月採用)

採用予定人数

システムエンジニア 若干名

受付期間及び時間

令和2年11月6日(金)まで

※郵送は当日消印有効

受付時間…平日8時30分から17時15分まで

受験資格

昭和60年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人(令和3年4月1日現在で20歳から35歳)。

就学課程4年の大学で情報処理に関する科目を専攻し卒業した人、又は専門学校2年以上の情報処理課程を就学し卒業した人。いずれも令和3年3月卒業見込みの人も含む。

試験日程

●第1次試験 12月6日(日)
場所…いわみーる

(浜田市野原町1826番地1)

●第2次試験 令和3年1月予定

※新型コロナウイルスの感染状況によつては、日程等を変更する場合があります。

試験手続き及び詳細

試験案内及び試験申込書は、邑智郡総合事務組合総務課、川本町総務財政課で交付します。

※インターネットでの申し込みはできません。

【問】邑智郡総合事務組合総務課

☎72-2777

ロタウイルスワクチン予防接種

令和2年10月1日から、ロタウイルスワクチン予防接種が定期接種になり、町の助成により自己負担なしで接種できるようになりました。

対象は、令和2年8月1日以降に生

まれたお子さんです。対象の方には、新生児・乳児訪問の際にお知らせします。

【問】健康福祉課健康推進係

☎72-0633

墓地の新設・変更・廃止には許可が必要です

墓地の経営(新設)・改葬・廃止には、「墓地・埋葬等に関する法律」等により、事前に町の許可を受ける必要があります。

■墓地を新しくつくる(新設)

墓地を新しくつくるときは、許可手続きが必要です。設置するには、墓地の構造、設置場所等さまざまな条件があります。墓地予定地が農地である場合は、まず農業委員会や農地転用の申請をしてください。農業委員会の許可が出てから、墓地経営許可の申請を行ってください。

土地取引の届出制度

国土利用計画法により、一定面積(※)以上の取引(売買、交換等)をした場合は、契約締結日を含めて二週間以内に土地が所在する自治体へ届出が必要です。

※届出が必要な面積

- ①市街化区域内 2,000㎡以上
- ②①を除く都市計画区域内 5,000㎡以上
- ③都市計画区域以外 10,000㎡以上

【問】島根県用地対策課

☎0852-22-5077
地域整備課 ☎72-0637

■墓地のお骨を他の墓地に移す(改葬)

①町内にある墓地から他の市町村にある墓地にお骨を移す

②町内にある墓地から町内にある別のお墓にお骨を移す

右記の場合、改葬許可の申請を行ってください。

■墓地の廃止

改葬等により廃止する場合は、廃止許可申請が必要です。

墓地について計画されている方は事前にご相談ください。

【問】町民生活課環境生活係

☎72-0632

島根県最低賃金改定のお知らせ

県内の事業場で働くすべての労働者とその使用者に適用される最低賃金が改定されました。この金額は、令和2年10月1日以降の賃金から適用されます。

時間額 792円

最低賃金には、臨時に支払われる賃金、1カ月を超える期間ごとに支払われる賃金、時間外労働・休日労働等に対する割増賃金、精皆勤手当、通勤手当及び家族手当は含まれません。

【問】島根県労働局労働基準部賃金室

☎0852-31-1158

他人ごとから自分ごとへ

～川本町同和教育推進協議会 研修会～

川本町同和教育推進協議会が主催する研修会（8月19日開催）で、美郷町都賀行隣保館 指導職員 松村みはるさんに「私の選んだふるさと」と題して「同和問題」をテーマに講演をいただきました。講演の中で松村さんは、同和問題の解決を考える上で、次の3つのことが大切であるというお話をされましたので紹介します。

①同和問題解決には子どもの力は欠かすことができない

体験から得る感性は子どもの中に正しい知識としてつながってきます。誰もが自分らしく生きられる社会を築いていくことを子どもたちに託したいと思っています。私にできることは地域の住民として子どもと一緒に触れ合う時間を大切にすることです。

②日常生活の中の人権

人権とは、私たちの生活そのものです。生きるための力です。人権とは人間が人間らしく幸せに生きていくための権利です。自分だけでなく相手の人権も大切にすること、お互いを思いやる気持ちが必要です。日常生活の中に差別やいじめを見抜く力が必要で、「それは言い過ぎ」「おかしい」と言える勇気の一步を持つ力を身につけていかなければなりません。

③毎日の生活の中で心がけたいことあいつ

あいつは人を大切にする気持ちの表れの一つです。あいつをされるといことはそこに存在を確かに認めるということです。あいつはする側もされる側もどちらも幸せになれる魔法の言葉です。子どもも大人も声に出して、お互いに感謝の気持ちを伝え合ってほしいです。



講演の最後に、差別されることがどんなに辛いことか、「他人ごとから自分ごと」として捉えてほしいという話がありました。様々な差別をなくしていく努力を、私たち一人一人が「他人ごとから自分ごと」として意識をしていく必要があります。そのことが解決の鍵となります。差別のない社会を実現していくために、人権感覚を磨き続けていくこと、そして研ぎ澄ましていくことを大切にしていきたいです。

（文責：派遣社会教育主事 竹田進吾）

ツキノワグマとの遭遇にご注意ください

秋の行楽シーズンを迎え、登山やキャンプ、紅葉狩り、キノコ狩りなどで山に入る機会が多くなります。秋に入るとクマも冬眠に向けた準備のため、行動が活発になります。行楽や農林作業等で山に入る場合は、鈴や笛など音の出るものを身につけて入山してください。

遠くにクマを見つけたら

急に背中を見せて走って逃げると、反射的に追いかけてくると言われています。あわてず、騒がず、静かに立ち去りましょう。



子グマを見かけたら

近くに親グマがいます。すみやかに立ち去りましょう。



クマがこちらに気づいたら

大声で叫んだり石や棒きを投げつけたりしてはいけません。普通にしていれば、クマのほうから立ち去るはずですが、あわてるとは、事故につながります。



それでも近づいてきたら

クマは逃げるものを追いかける習性があります。大声を出さずに、リュックなどの荷物をそっと置き、クマの気をそらしながら、ゆっくり立ち去りましょう。



自宅でできる 田井トレ

今回もいつでも簡単に行えるトレーニングの紹介です。座っていても立っていても、自分の身体ひとつで行えます。日常生活のちょっとした瞬間、時間にトレーニングのチャンスを見つけてください。皆さんのトレーニングバリエーションが増えて、健康も筋肉も増えていけば幸いです。冬に向け、寒さに負けない身体づくりと一緒に頑張っていきましょう。



①身体の前で両手のひらを合わせます。②～④の動きすべての基本姿勢になります。



～ NG ～
肩が上がり、首をすくませるような姿勢は避けましょう。また、左右でバランスが崩れてもいけません。



②手のひら全体に力を入れ続けた状態で、肘を伸ばし前に出します。息を吐き続けながら10秒止める。これを3セットを目安に行います。



③斜め上45度に向かって肘を伸ばします。ここでは大胸筋上部に力が入ります。同じく息を吐き続けながら10秒3セットを目安に行います。



④斜め下45度に向かって肘を伸ばします。ここでは大胸筋下部に力が入ります。同じく息を吐き続けながら10秒3セットを目安に行います。

田井コラム

最近、昼夜の気温差が激しくなっています。体調管理のためにも、日ごろから身体を鍛えて免疫力を高めるために、皆さん一緒に心身ともに鍛えていきましょう。

地域おこし協力隊（健康運動指導士） 田井 誠

川本町地域おこし協力隊活動通信 vol.4

美術工芸作家として独立するという目標を持って、埼玉県から島根県へ引っ越し、今月で16カ月が経とうとしています。大学で芸術を専門で学び、美術教員免許や学芸員資格を取得しました。卒業後は、京都の職人育成学校や釉薬（ゆうやく）の研究所へ進学し、工芸の専門知識を身につけました。その後、これらの専門的な知識やノウハウを生かした授業を、東京や京都などで4,000人以上に行っていました。私は今、「陶胎漆器」という縄文時代からあった日本の陶芸と漆芸を応用した技術を用いて作品を作っています。「陶胎漆器」は、陶芸と漆芸の両方の伝統技法を習得する必要があります。陶磁器成形から漆芸の仕上げまで一貫して1人の作家が制作する作品は、他の美術工芸品に比べ極端に少ない状態です。陶磁漆器・磁胎漆器の魅力に惚れ込んだ1人として、この技術のバトンを次世代へ繋ぐことを目標にしています。しかし、今日の日本の伝統工芸は担い手不足等により産業自体が衰退しつつある危機的状況です。

日本は昔から資源に恵まれておらず、海外から原料を調達し、職人たちがものづくりをし、それをまた国内外へ広めていった歴史があります。陶芸と漆芸も、何百年、何千年前から多くの人たちが多くの失敗を繰り返して、それでも挑戦し続けて進化してきました。

私は、運良く「陶胎漆器」の技術を習得することができました。この幸運のバトンを私のところで終わらせたくありません。10年後を目標とした技術伝承及び後継者育成に向け、次世代が有意義にものづくり業界で働ける土台を作っていくことを目標としています。そして、次世代を担う子どもたちにもっと明るい未来を描いてもらえるように、現状をアップデートしたいという信念があります。

人生百年時代。いつの日か私の手がしわくちゃになっても、大好きなものづくりを思い切り味わい続けられる素敵な世界を目指して。



小杉 紗友里さん
(埼玉県草加市出身)



日々の制作工程は
インスタグラムを
ご覧ください

観光活性化コーディネーター（令和2年3月）
弓チャレ・アントレプレナー（令和2年4月）
令和元年7月1日着任

カヌージュニアオリンピック

全国大会で大健闘！

9月7日から13日にかけて石川県小松市木場潟カヌーコースで開催されたJOCジュニアオリンピックカップ第16回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会で本校カヌー部が大健闘しました。



【結果報告】

●少年男子カヤックシングル1000m	齋藤 哲一（宮城県出身）	3位
●少年男子カヤックシングル500m	行田 朋晃（邑智中出身）	3位
	小鍵 亮太（滋賀県出身）	4位
	齋藤 哲一	5位
●少年男子カヤックシングル200m	小鍵 亮太	2位
	行田 朋晃	3位
●成年男子カヤックシングル200m	小鍵 亮太	5位
●少年女子カヤックシングル500m	松岡 華加（川本中出身）	6位
	橋本 茉音（滋賀県出身）	B 決勝 2位
	高橋 優花（福島県出身）	B 決勝 3位
	山根陽菜子（桜江中出身）	B 決勝 9位

●少年女子カヤックシングル200m

松岡 華加	5位
橋本 茉音	B 決勝 2位

●成年女子カヤックシングル1000m

高橋 優花	5位
-------	----

●大会を終えた感想

2年1組 行田 朋晃さん（邑智中出身）
今大会はあまり自分の納得いくレースではなかったけど、なんとか3位になることが出来ました。また課題が見つかったので今後もしっかり練習していきたいです。
2年1組 松岡 華加さん（川本中出身）
不安や緊張もあったけど「自分は挑戦者だ」という気持ちで漕ぎ切りました。この経験を活かして今後も頑張りたいです。

島根高校新人陸上競技大会

9月19・20日に益田陸上競技場にて島根県高等学校新人陸上競技大会が開催され、本校からの出場選手それぞれが良い結果を出す事が出来ました。新人戦ということでこれからのさらなる成長に期待しています。

【結果報告】

●5000m競歩

吉迫 大成（邑智中出身）	1位
塚田 楓也（川本中出身）	2位

●男子砲丸投 三上 純真（川本中出身） 3位

●女子走幅跳 野口 月華（川本中出身） 1位

●女子三段跳 野口 月華 大会新記録 1位

☆優秀選手賞 野口 月華

●大会を終えた感想

2年2組 野口 月華さん（川本中出身）
前の大会では走幅跳は2位で悔しい結果で終わってしまったので新人戦は絶対2種目で1位を獲ろうと思って今回の大会に出ました。

心に残る看護エピソード 最優秀賞

島根県内の高校生に向けて「心に残る看護エピソード」が募集され、高等学校7校から44名の応募がありました。その中から、本校3年生の稲田詩さんが最優秀賞に選ばれました。この経験を今後活かしてほしいと思います。

●受賞後の感想

3年2組 稲田 詩さん（瑞穂中出身）
受賞したときはとても驚きました。自分の思いがしっかりと人に伝えられたのかなと思います。この気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいです。

ぶっくん だより

2020年
10月号

No.281



かわもと図書館

電話 0855-72-0025 Fax 0855-72-1061

開館時間：9時～18時 土日9時～17時

休館日：火曜日・祝日・月末整理日・年末年始

11月の展示テーマ

《一般書》

読書の秋～おすすめの本～

新聞の書評で紹介された本や利用者の方や色々なところで紹介された本を集めて展示します。

今年は早めにはじめてみませんか？

あとわずかで大掃除の時期になります。

掃除、片付けの本をあつめて展示します。



《児童書》

ほん だいすき！

読書の秋にちなみ、お話のなかに「本」や「図書館」が出てくる絵本や「秋」を集めて展示します。

掲示板

♪ あそびのひろば&えほんのじかん

11月13日（金）10：00

読み語り 移動図書館

♪ おでかけ図書館デー

11月10日（火）川本西公民館

11月11日（水）三原まちづくりセンター

**ラストページまで
駆け抜けて**

2020・第74回 読書週間
10/27～11/9

10月27日～11月9日は「読書週間」です。

2020年の標語 「ラストページまで駆け抜けて」

川本町では秋の読書週間を「川本町読書週間」としています。お家時間、ゆっくり本とともに過ごしてみませんか。

読書期間中の企画

しおりプレゼント

ブックコートサービス

大切な本を汚れや傷から守るブックコート（透明なカバー）をおかけします。お気に入りの1冊をお持ち下さい。（1人1冊まで 無料）

おすすめの本

まちキャンで図書館にきている島根中央高校生、利用者の方や図書館職員の「おすすめの本」を展示します。

古本市

新刊案内 おすすめの一冊

一般書

半沢直樹

アルカンと道化師

池井戸潤 著

講談社

えにし屋春秋

あさのあつこ 著

角川春樹事務所

海神の島

池上永一 著

中央公論新社

児童書

ねられんねられん

かぼちゃのこ

やぎゅうげんいちろう さく

福音館書店

だれかなあ？

みやにしたつや 作・絵

鈴木出版

ゾウともだちにな

あべ弘士 絵

入江尚子 文

福音館書店

児童書

神様のパッチワーク

山本悦子 作

佐藤真紀子 絵

ポプラ社

キララメル色のわたし

シャロン・M・ドレイパー 作

横山和江 訳

みんなに話したくなる

感染症のはなし

仲野徹 著

河出書房新社

9/16,17

川本中学校職場体験

川本中学校3年の井手美月さんが、かわもと図書館で職場体験をしました。図書館内での体験や三原まちづくりセンター図書室の本の入れ替えを行いました。



本を書架に返しました



読み語りの練習をしました

悠邑ふるさと会館催し物案内

11月

11月1日(日)は電気設備点検のため全館臨時休館します。

大ホール

21日
(土)
22日
(日)

第29回しまね映画祭 in川本

日 時

11月21日(土)

- 10:00~ 伊豆の踊り子 (優秀映画/1988年)
- 13:30~ Wの悲劇 (優秀映画/1984年)
- 16:00~ 時をかける少女 (優秀映画/1983年)
- 18:30~ ぼくらの七日間戦争 (優秀映画/1988年)

11月22日(日)

- 10:00~ 映画かいけつゾロリ
まもるぜ! きょうりゅうのたまご (一般作品)
- 13:30~ 花のあとさき ムツバあさんの歩いた道
(しまね映画祭テーマ映画)
- 16:00~ グリーン・ブック 吹き替え版 (一般作品)
- 19:00~ グリーン・ブック 字幕スーパー版 (一般作品)

料 金 優秀映画・テーマ映画・映画かいけつゾロリ
/ 1作品 500円

グリーン・ブック/1,000円

◆まげなフリーパス持参で無料

会 場 悠邑ふるさと会館大ホール特設映画館

◇ご入場の際には、感染症対策として受付の際に検温など行います。
マスク着用での来館、手指消毒などにご協力ください。



©2013 原ゆたか/
ポプラ社、映画かいけつゾロリ製作委員会



©NHK



©2018 UNIVERSAL STUDIOS AND
STORYTELLER DISTRIBUTION CO., LLC.
All Rights Reserved.

防災無線（戸別受信機）の設定・受信状況を確認しましょう

防災無線は、災害時や火災時に重要な情報を町民の皆さんにお伝えする機械です。非常時に確実に放送がなされるよう平時から防災無線（戸別受信機）の状況を確認しましょう。

■電源／着信ランプを確認してください

〈緑色に点灯〉

不具合はありませんので、このままご利用ください。

〈赤色に点灯〉

故障していますので、総務財政課にご連絡ください。

〈赤色に点滅〉

乾電池（単1、単2、単3いずれも可）の交換が必要です。

※「電池を交換してください」と音声流れます。



■昼12時のチャイム、夕方5時のメロディーが放送されていますか？

〈チャイム、メロディーが放送されていない〉

電波の受信状況が不安定です。電波の状況を確認しますので役場にご連絡ください。

※防災無線が聞こえない場合の主な原因は、受信状況が不安定な場合が考えられます。

防災無線の位置を変えた際には、受信状況が変わることもありますのでご注意ください。

【問】総務財政課総務係 ☎72-0631

お知らせ

税を考える週間

【テーマ】「くらしを支える税」

【期間】11月11日～17日

期間中、様々な催しを行うとともに、国税庁ホームページで「新型コロナウイルス感染症関連情報」「e-tax」及び「消費税の軽減税率制度」等を提供しています。ぜひ、ご覧ください。

岡浜田税務署

☎0855-22-0360

<https://www.nta.go.jp>

募集

福祉・介護の就職支援セミナー 受講生募集

福祉の職場に就業を希望される方を対象としたセミナーです。福祉の職場で役立つ知識と技術を分かりやすく楽しく学べます。

【松江会場】いきいきプラザ島根 11月19日(木)・20日(金) 10時～16時

【浜田会場】いわみーる 11月26日(木)・27日(金) 10時～16時

【主な内容】介護の基本理解、介護技術、施設見学(松江会場)、キャリアプランニング(松江会場)、コミュニケーションとストレスマネジメント(浜田会場)、職場説明会(浜田会場)

【対象者】無資格者(過去に福祉事務所での勤務経験がある方)、有資格者(経験なしでも可能)、介護の入門的

研修修了者

【募集定員】各会場15人

【受講料】無料

【申込締切】松江会場 11月5日(木)
浜田会場 11月16日(月)

【託児等】

(松江会場) あり

(浜田会場) 一時預かり等の費用助成あり ※要事前申込

岡松江会場 島根県福祉人材センター

☎0852-3215957

浜田会場 島根県福祉人材センター

石見分室

☎0855-24-9340

離職者等再就職訓練

【訓練科目】

パソコン資格取得コース(川本)

【定員】15名

【訓練内容】初心者を対象に一般事務に必要なパソコンの基本操作(文書作成・表計算)の実践的知識、技能の習得を目指します。併せてビジネスマナーやコミュニケーション能力など職業人として求められるスキルを身につけます。

【応募資格】求職者

【受講料】無料(ただしテキスト代等12,000円程度必要です。)

【訓練期間】12月17日(木)～令和3年3月16日(火)

【訓練会場】邑智地域能力開発センター

(川本町大字川本265-13 川本合庁2階)

【募集期間】11月30日(月)まで

【応募方法】お近くのハローワークの

窓口で相談の上、「入校願」を提出してください。

【入校検定日】12月4日(金)

【検定会場】川本合庁5階504会議室

【選抜方法】面接試験および筆記試験(国語・数学)

【合格発表】12月10日(木)

岡島根県立西部高等技術校

総務企画課(得能)

☎0855-22-2450

T698-0041

島根県益田市高津四丁目7-10

E-mail: seibukotogi@pref.shimane.lg.jp

催し物

石見もりもり祭について (石見養護学校文化祭)

例年、たくさんの方にご来場いただいております「石見もりもり祭」ですが、今年度は、コロナウィルス感染防止の観点から、**一般の方の来場を中止**させていただきます。校内関係者のみの開催とします。

そこで、本校高等部の作業製品を見ていただく機会を、郡内各地で開催することいたしましたので、お知らせします。川本町での開催予定は、左記の通りです。当日は販売も行います。たくさんのご来場、お待ちしております。

【日時】10月28日(木) 10時30分～14時

【場所】道の駅インフォメーションセンターかわもと(川本町因原)

広げよう 事故ゼロかわもとの 思いやり

飲酒	物損	死傷者	人身	
0 (0)	6 (7)	0 (0)	0 (0)	川本町
0 (0)	72 (71)	1 (2)	1 (0)	累計
1 (5)	237 (273)	7 (11)	6 (8)	郡内累計

※()内は前年同月数

◇交通事故・違反発生状況

(令和2年9月末)

人も、会社も、もっと元気に！

中退共済制度
小企業 退職金 共済制度

- ◆掛金の一部を国が助成
- ◆掛金は全額非課税。手数料も不要
- ◆外部積立型なので管理が簡単
- ◆パートさんの加入もOK



詳しくはホームページへ

中退共 検索

(独) 勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

詳細については、学校ホームページまたはポスター等でお知らせします。
岡石見養護学校(上田・恩田)
☎0855-9512141

くらしの情報カレンダー 11月

※新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
1 悠 休館日 図 休館日 診 呂智病院 加藤病院	2 図 休館日 ①カン・ビン・新聞・雑誌・段ボール・不燃ごみ (A地域)	3 悠 休館日 図 休館日 文化の日 診 三上医院 加藤病院	4 ③コーヒーの日 9:00～ ①カン・ビン・新聞・雑誌・段ボール・不燃ごみ (B地域)	5 あいさつの日 ①芋畑集会所 9:00～10:00 田窪自治会館 11:00～12:00 ①カン・ビン・新聞・雑誌・段ボール・不燃ごみ (C地域)	6	7 保 川本保育所 発表会
8 診 星ヶ丘クリニック 大隅医院	9	10 悠 休館日 図 休館日 ③健/図 乳幼児相談・おでかけ図書館 (西公民館) 13:10～13:40	11 ③健/図 乳幼児相談・おでかけ図書館 (三原まちづくりセンター) 9:30～10:00	12	13	14 学/悠 川本小学校学習発表会
15 診 呂智病院 波多野診療所	16 ゆうゆうカフェ (川本町役場) 14:00～15:00	17 悠 休館日 図 休館日	18 ③健/サ あそびのひろば & 乳幼児相談 10:00～11:30 ③スープの日 11:30～	19 食育の日	20	21
22 坂町制施行70周年記念式典 (坂町・サンスターホール)	23 図 休館日 ①勤労感謝の日 ①呂智クリーンセンター直接搬入日 (一般家庭ごみ)	24 悠 休館日 図 休館日	25	26	27	28
29 診 呂智病院 加藤病院	30 図 休館日					

第44回川本町産業祭中止のお知らせ

「第44回川本町産業祭」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止します。

川本町産業祭実行委員会

11/1(日)～21(土) 高齢者の交通事故防止運動

《10月の納税》

- ◆町県民税
- ◆国民健康保険税
- ◆後期高齢者医療保険料

《11月の納税》

- ◆国民健康保険税
- ◆後期高齢者医療保険料

※必ず納期限までに納めましょう。

③ 健康相談・検診

公 公民館

悠 悠呂ふるさと会館

図 図書館

③ 三原まちづくりセンター

③ すこやかセンター (社会福祉協議会)

サ 子育てサポートセンター

学 学校

保 保育所

ト ドクターカー巡回

診 休日診療情報 (10:00～16:00)

① ゴミ収集

A地域 (木路原・日の出・上新町・中新町・下新町・元町・本町・天神町・谷・市井原・長原・矢谷・芋畑・双葉・中倉・日向)

B地域 (因原・三大字・多田・久座仁・谷戸・三島・笹畑)

C地域 (西・八幡・三原・田窪・南佐木・親和・湯谷・三俣)

〔燃えるごみの収集日〕 毎週火曜日・金曜日 (町内全域)

〔ペットボトルの収集日〕 毎月第1・3水曜日 (町内全域)

〔容器包装 プラスチックの収集日〕 毎週木曜日 (町内全域)

〔容器包装 紙の収集日〕 毎月第2・4水曜日 (町内全域)

令和2年度川本町職員採用試験（一般事務・土木）実施について

- 1. 受付期間** 令和2年11月6日（金）まで
受付時間 平日8:00～17:00
 ※郵送による場合は11月6日までの消印のあるものに限り受け付けます。

2. 試験区分・受験資格

■一般事務

- 試験種目** 高校卒業程度 **採用予定人数** 若干名
 ・昭和56年4月2日以降に生まれた人（令和3年4月1日時点で満40歳未満）
 ・学校教育法による高等学校を卒業した人又は令和3年3月31日までに卒業見込みの人

■土 木

- 試験種目** 高校卒業程度 **採用予定人数** 若干名
 ・昭和56年4月2日以降に生まれた人（令和3年4月1日時点で満40歳未満の人）
 ・土木専門課程（高校・高専・大学・各種学校）を修了した人、若しくは令和3年3月31日までに修了見込みの人又は土木技術職として3年以上の経験を有する人

3. 試験の日時・会場・合格発表

- 第1次試験** **日 時** 12月6日（日）
受 付 9:15～9:45 **試験開始** 10:00
会 場 いわみーる（浜田市野原町1826番地1）
合格発表 12月中旬頃
 ※可否結果を受験者に郵送で通知します。

- 第2次試験** **試験日** 12月27日（日）予定
 ※第1次試験合格通知の際にお知らせします。
会 場 川本町役場（川本町川本271番地3）
合格発表 令和3年1月中旬頃

4. 試験の時間及び種目

- 10:00～12:00 教養試験（共通）
 12:40～13:00 性格特性検査（共通）
 13:30～15:00 専門試験（土木のみ）

5. 受験手続

■試験申込書及び受験票用紙等の交付

- 川本町総務財政課で交付します。
- 試験申込書及び受験票用紙等を郵送で請求する場合は、封筒の表に「試験請求」と朱書きし、140円切手を貼った宛先明記の返信用封筒（定形外：A4が入る大きさ）を必ず同封して、10月26日（月）必着で総務財政課まで請求してください。

■受験申込

試験申込書、受験票に必要事項を記入し期日までに総務財政課に持参若しくは郵送で提出してください。ただし、受験票の写真欄には写真を貼らないでください。（写真は受験票の交付を受けた後、試験当日までに貼ってください。）郵送の場合は、封筒の表に「試験申込」と朱書きし、書留で郵送してください。

【問】総務財政課総務係 ☎72-0631

令和3年度保育所入所受付

- 令和3年4月以降の保育所入所受付を行います。
受付日時 令和2年10月30日（金）
場 所 ※（ ）内は定員
 川本保育所（70）9:00～11:00
 因原保育所（30）13:30～14:30
 川本北保育所（20）15:30～16:00
 ・入所希望のお子さんと一緒にお願いします。
 ・当日都合のつかない方は10月31日以降も健康福祉課で受け付けます。
 ・年度途中に入所を希望される方も受け付けますの

で、できるだけ申込をお願いします。必要書類（認定申請書、利用申込書、就労証明書等）は当日お渡しします。

※申請にあたっては、入所を希望する児童及びその保護者の個人番号の記載が必要です。

■申請時にご持参いただくもの

印鑑、個人番号カード（または個人番号通知カード）、本人確認書類（運転免許証等）

■入所要件

保護者の就労や疾病等により家庭で子供を保育することが難しい場合

【問】健康福祉課福祉係 ☎72-0633

川本町の人口

令和2年9月30日現在
 ※（ ）は前月との増減

合 計 **男** 1,529人 (+4人)
女 1,697人 (-3人)
 (前年同期: 3,294人)
3,226人
 うち65歳以上 1,448人
 うち15歳未満 322人
 (前月比 +1人) 世帯数 1,651戸

増 減	転 入 10人	出 生 2人	そ 他 0人
	転 出 6人	死 亡 5人	そ 他 0人

※住民基本台帳を基にした令和2年9月中の異動状況

「しまね版特区」申請受付中

「しまね版特区」は、皆さんが地域の活性化のため取り組もうとしている事業が、様々な規制により実施が困難なときに、規制の特例措置を設けることによってその実現をはかる制度です。市町村、民間事業者（NPO、住民グループ、民間企業など）どなたでも申請可能です。受付期間に関わらずお気軽にご相談ください。

申請受付期間 10月30日（金）まで

※詳しくは、しまね暮らし推進課ホームページをご覧ください。

【問】島根県しまね暮らし推進課

☎0852-22-6234 FAX 0852-22-5761



行楽シーズンが到来し、お出かけにはもってこいな気候となりました。世間では「GO TO」が叫ばれ、コロナ禍での生活に楽しさが増えたように感じます。これからは、だんだん寒くなり、インフルエンザにも注意が必要です。今年度の予防接種は全額助成されますので、転ばぬ先のなんとやら。十分にお気をつけください。